運 用 報 告 書（全体版）

ＤＩＡM高格付外債ファンド

愛称：トリプルエース

第196期　<決算日　2025年４月21日>
第197期　<決算日　2025年５月19日>
第198期　<決算日　2025年６月19日>
第199期　<決算日　2025年７月22日>
第200期　<決算日　2025年８月19日>
第201期　<決算日　2025年９月19日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ＤＩＡM高格付外債ファンド」は、2025年９月19日に第201期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年10月15日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ＤＩＡM高格付外債ファンド	「国際機関債」および「海外国債等」を実質的な主要投資対象とします。
	国際機関債マザーファンド	「国際機関債」を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、国際機関債マザーファンド受益証券を通じて実質的に「ＡＡＡ格の国際機関債」に、また直接「ＡＡＡ格の海外国債等」に、それぞれ投資することにより、信用リスクを回避しつつ相対的に高い利回りと為替益の獲得をめざして運用を行います。 国際機関債マザーファンドは、主として新興国通貨建て国際機関債に投資します。これらの債券は新興国の通貨建てで発行されますが、その信用力は当該新興国ではなく発行体である国際機関に依存します。 「国債等」には、国債のほかソブリン債を含みます。 実質的な投資対象である国際機関債および国債は、当初組入時において最高位の信用格付であるＡＡＡ格（Ｓ＆Ｐ社）／Ａａａ格（Moody's社）を取得している（ただし、両社が格付を付与している場合には、どちらか高い方の格付を基準）ものに限ります。保有する債券の格付が格下げにより上記基準を満たさなくなった場合は、当該債券を速やかに売却するものとします。 国際機関債マザーファンド受益証券への投資を通じて投資する「ＡＡＡ格の国際機関債」と、直接投資する「ＡＡＡ格の海外国債等」の時価金額比率は、おおむね２：１程度とします。 実質的な投資対象通貨数は原則として６～10通貨程度とします。これら投資対象通貨の選定にあたっては、主に中短期の金利水準に着目しますが、流動性、投資通貨規制等も総合的に勘案します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以下とします。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月19日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
https://www.am-one.co.jp/

ＤＩＡM高格付外債ファンド

■最近５作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配金	期中騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		円	円	%	%	%	百万円
第30作成期	172期(2023年４月19日)	3,863	10	4.1	97.1	－	4,209
	173期(2023年５月19日)	3,979	10	3.3	96.9	－	4,296
	174期(2023年６月19日)	4,154	10	4.6	97.1	－	4,416
	175期(2023年７月19日)	4,132	10	△0.3	96.5	－	4,333
	176期(2023年８月21日)	4,202	10	1.9	97.1	－	4,340
	177期(2023年９月19日)	4,251	10	1.4	96.6	－	4,340
第31作成期	178期(2023年10月19日)	4,233	10	△0.2	96.6	－	4,289
	179期(2023年11月20日)	4,375	10	3.6	96.0	－	4,380
	180期(2023年12月19日)	4,206	10	△3.6	96.4	－	4,154
	181期(2024年１月19日)	4,347	10	3.6	96.6	－	4,243
	182期(2024年２月19日)	4,392	10	1.3	97.4	－	4,252
	183期(2024年３月19日)	4,376	10	△0.1	97.4	－	4,206
第32作成期	184期(2024年４月19日)	4,439	10	1.7	97.2	－	4,230
	185期(2024年５月20日)	4,583	10	3.5	97.2	－	4,342
	186期(2024年６月19日)	4,517	10	△1.2	96.4	－	4,274
	187期(2024年７月19日)	4,538	10	0.7	95.2	－	4,233
	188期(2024年８月19日)	4,313	10	△4.7	94.7	－	3,996
	189期(2024年９月19日)	4,225	10	△1.8	95.4	－	3,884
第33作成期	190期(2024年10月21日)	4,335	10	2.8	96.1	－	3,939
	191期(2024年11月19日)	4,417	10	2.1	95.6	－	3,904
	192期(2024年12月19日)	4,346	10	△1.4	94.9	－	3,798
	193期(2025年１月20日)	4,373	10	0.9	95.3	－	3,790
	194期(2025年２月19日)	4,347	10	△0.4	95.9	－	3,736
	195期(2025年３月19日)	4,329	10	△0.2	97.1	－	3,700
第34作成期	196期(2025年４月21日)	4,047	10	△6.3	96.5	－	3,439
	197期(2025年５月19日)	4,178	10	3.5	96.9	－	3,506
	198期(2025年６月19日)	4,255	10	2.1	97.1	－	3,539
	199期(2025年７月22日)	4,388	10	3.4	96.5	－	3,626
	200期(2025年８月19日)	4,416	10	0.9	96.3	－	3,602
	201期(2025年９月19日)	4,477	10	1.6	95.6	－	3,607

（注１）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注３）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注４）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注５）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

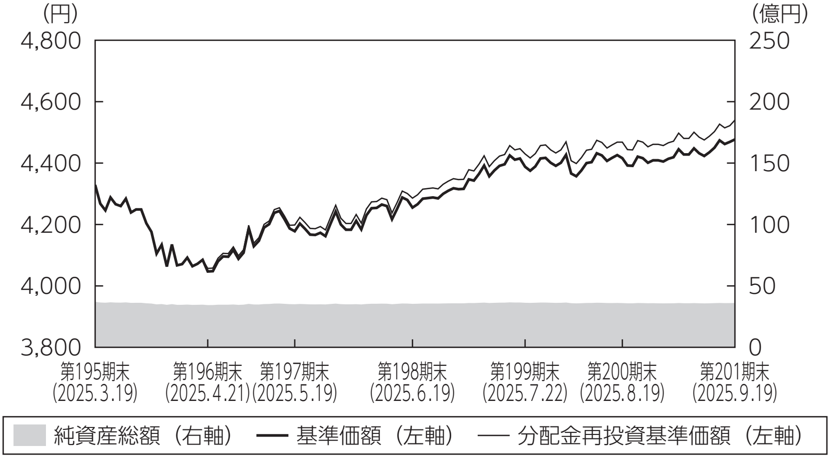
■過去６ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年月日	基準価額	基準価額 騰落率	債券組入比率	債券先物比率
第196期	(期首) 2025年3月19日	円 4,329	% −	% 97.1	% −
	3月末	4,239	△2.1	97.1	−
	(期末) 2025年4月21日	4,057	△6.3	96.5	−
第197期	(期首) 2025年4月21日	4,047	−	96.5	−
	4月末	4,088	1.0	96.9	−
	(期末) 2025年5月19日	4,188	3.5	96.9	−
第198期	(期首) 2025年5月19日	4,178	−	96.9	−
	5月末	4,200	0.5	96.5	−
	(期末) 2025年6月19日	4,265	2.1	97.1	−
第199期	(期首) 2025年6月19日	4,255	−	97.1	−
	6月末	4,310	1.3	96.8	−
	(期末) 2025年7月22日	4,398	3.4	96.5	−
第200期	(期首) 2025年7月22日	4,388	−	96.5	−
	7月末	4,401	0.3	96.7	−
	(期末) 2025年8月19日	4,426	0.9	96.3	−
第201期	(期首) 2025年8月19日	4,416	−	96.3	−
	8月末	4,405	△0.2	96.4	−
	(期末) 2025年9月19日	4,487	1.6	95.6	−

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注３）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■第196期～第201期の運用経過（2025年３月20日から2025年９月19日まで）

基準価額等の推移



第196期首：　4,329円
第201期末：　4,477円
（既払分配金60円）
騰　落　率：　　4.9%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。当作成期は保有債券からのインカム収益や、多くの投資国および投資年限で利回り低下（価格は上昇）が進むなど債券要因が基準価額上昇の主要因となりました。為替要因についても、投資通貨の対円の動きはまちまちであったものの、全体では基準価額にプラス寄与しました。

投資環境

　投資国の債券市場では国債利回りが多くで低下（価格は上昇）しました。主要先進国ではインフレ低下から政策金利の引き下げが見込まれ、米国やドイツで国債利回りが低下しました。多くの投資国でもインフレ低下などから利下げが実施されたことで利回りが低下しました。一方、トルコでは野党政治家の逮捕などによる政治リスクが意識されたことで利回りが大きく上昇（価格は下落）しました。

　為替市場で、投資国通貨の対円での動きはまちまちでした。４月に米国の関税賦課計画が発表された場面でリスク回避的な動きから米ドル安円高が進む場面があったものの、その後に中国に対する大幅な関税賦課の延期などからリスク選好が改善し、米ドルは下げ幅を縮めました。投資通貨の多くは、リスク選好が維持される中で多くが対円上昇しましたが、政治リスクなどが意識されたトルコやインド、インドネシアの通貨は対円で下落しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

　純資産総額の３分の２程度を国際機関債マザーファンドを通じて実質的に「ＡＡＡ格の国際機関債」に投資し、残りの３分の１程度は「ＡＡＡ格の海外国債等」に直接投資しました。「ＡＡＡ格の海外国債等」については、金利水準や地域分散等に鑑み、作成期末時点ではオーストラリア、ドイツ、ノルウェーの国債およびユーロ建てまたはノルウェークローネ建ての国際機関債に投資しています。

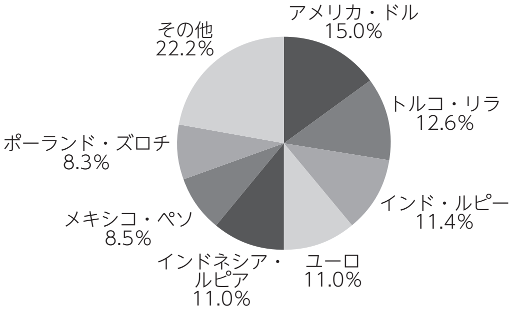
●国際機関債マザーファンド

　新興国通貨建て国際機関債の利回り水準や流動性などに基づき投資通貨を決定しました。当作成期末においては、メキシコペソ、ブラジルレアル、インドネシアルピア、インドルピー、南アフリカランド、ポーランドズロチ、トルコリラ建て債券に投資しています。

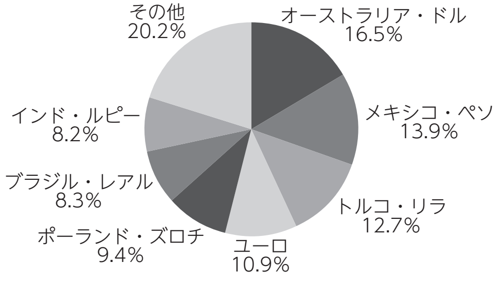
【運用状況】

○通貨別構成比

前作成期末



当作成期末



（注１）比率は当ファンドが実質的に組入れている有価証券の評価額に対する割合です。
（注２）上位８位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第196期 2025年3月20日 ～2025年4月21日	第197期 2025年4月22日 ～2025年5月19日	第198期 2025年5月20日 ～2025年6月19日	第199期 2025年6月20日 ～2025年7月22日	第200期 2025年7月23日 ～2025年8月19日	第201期 2025年8月20日 ～2025年9月19日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.25%	0.24%	0.23%	0.23%	0.23%	0.22%
当期の収益	10円	10円	10円	10円	10円	10円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	222円	226円	230円	236円	238円	244円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、純資産総額の３分の２程度を国際機関債マザーファンドに投資し、残りの３分の１程度は国債等に直接投資する運用を行い、投資国通貨の分散を行いながら中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。直接投資する国債等については、金利水準および市場流動性などから適宜組入対象や投資比率の見直しをはかる方針です。

●国際機関債マザーファンド

主として世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組み入れる方針です。金利水準および市場流動性などを鑑みながら組入対象については適宜見直しを計り、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■１万口当たりの費用明細

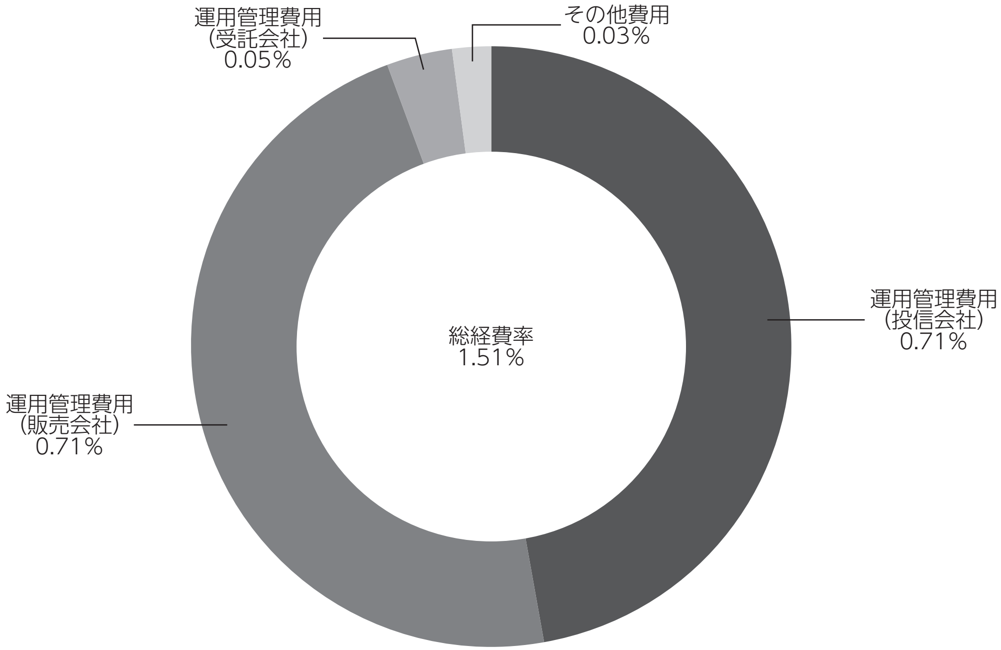
項目	第196期～第201期 （2025年３月20日 ～2025年９月19日）		項目の概要
	金額	比率	
（a）信託報酬	32円	0.746%	（a）信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,285円です。
（投信会社）	(15)	(0.360)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(15)	(0.360)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
（b）その他費用	1	0.016	（b）その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.003)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	33	0.762	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51％です。



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2025年３月20日から2025年９月19日まで）

公社債

			第 196 期 ～ 第 201 期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル –	千アメリカ・ドル 3,595 (–)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 3,375	千オーストラリア・ドル 496 (–)
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェー・クローネ 5,350	千ノルウェー・クローネ – (–)
		特殊債券	10,063	– (–)
	ユーロ 国際機関	特殊債券	千ユーロ 2,022	千ユーロ 1,299 (800)
	ユーロ ドイツ	国債証券	1,107	1,308 (–)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年３月20日から2025年９月19日まで）

	第 196 期 ～ 第 201 期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
国際機関債マザーファンド	千口 –	千円 –	千口 99,605	千円 194,600

■利害関係人との取引状況等（2025年３月20日から2025年９月19日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区　分	第34作成期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 5,850	千オーストラリア・ドル 5,803	千円 568,052	% 15.7	% −	% −	% −	% 15.7
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ 15,500	千ノルウェー・クローネ 15,311	千円 229,370	6.4	−	−	4.1	2.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
国際機関	2,050	2,021	352,777	9.8	−	−	5.8	4.0
ドイツ	130	130	22,758	0.6	−	−	−	0.6
合　計	−	−	千円 1,172,958	32.5	−	−	9.9	22.6

（注１）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注２）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘　柄	第34作成期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)		%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	国債証券	0.5000	650	631	61,839	2026/09/21
AUSTRALIAN 0.25 11/21/25	国債証券	0.2500	5,200	5,171	506,212	2025/11/21
小　計	−	−	5,850	5,803	568,052	−
(ノルウェー)		%	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	千円	
NORWAY 1.75 02/17/27	国債証券	1.7500	5,500	5,347	80,108	2027/02/17
IFC 3.97 05/08/28	特殊債券	3.9700	10,000	9,964	149,261	2028/05/08
小　計	−	−	15,500	15,311	229,370	−
(ユーロ…国際機関)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
EIB 0.0 06/17/27	特殊債券	0.0000	850	820	143,178	2027/06/17
EIB 2.25 08/14/28	特殊債券	2.2500	1,200	1,201	209,599	2028/08/14
小　計	−	−	2,050	2,021	352,777	−
(ユーロ…ドイツ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BUNDESSCHAT 2.2 03/11/27	国債証券	2.2000	130	130	22,758	2027/03/11
小　計	−	−	130	130	22,758	−
合　計	−	−	−	−	1,172,958	−

(2) 親投資信託残高

	第33作成期末	第34作成期末	
	口数	口数	評価額
国際機関債マザーファンド	千口 1,259,881	千口 1,160,275	千円 2,409,428

■投資信託財産の構成

2025年９月19日現在

項目	第34作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,172,958	32.3
国際機関債マザーファンド	2,409,428	66.4
コール・ローン等、その他	44,952	1.2
投資信託財産総額	3,627,339	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。
（注２）期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,178,449千円、32.5％です。
（注３）期末の国際機関債マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,399,352千円、99.6％です。
（注４）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年９月19日における邦貨換算レートは、１オーストラリア・ドル＝97.88円、１トルコ・リラ＝3.586円、１ノルウェー・クローネ＝14.98円、１メキシコ・ペソ＝8.062円、１インド・ルピー＝1.69円、100インドネシア・ルピア＝0.90円、１ブラジル・レアル＝27.843円、１南アフリカ・ランド＝8.53円、１ポーランド・ズロチ＝40.97円、１ユーロ＝174.51円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年４月21日)、(2025年５月19日)、(2025年６月19日)、(2025年７月22日)、(2025年８月19日)、(2025年９月19日)現在

項目	第196期末	第197期末	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末
(A) 資産	**3,454,533,223円**	**3,522,181,112円**	**3,555,332,659円**	**3,786,772,564円**	**3,625,607,712円**	**3,627,339,547円**
コール・ローン等	52,386,622	32,654,900	28,554,443	171,915,302	35,736,276	39,897,657
公社債(評価額)	1,129,599,901	1,150,736,807	1,176,680,214	1,191,390,451	1,182,800,576	1,172,958,323
国際機関債マザーファンド(評価額)	2,263,102,970	2,327,905,161	2,345,641,934	2,416,971,048	2,383,417,870	2,409,428,512
未収入金	－	－	－	2,799,031	20,000,000	－
未収利息	7,486,288	8,735,362	2,792,289	1,035,942	1,321,388	2,541,474
前払費用	202,463	250,950	1,401,780	2,264,597	1,791,034	1,849,917
その他未収収益	1,754,979	1,897,932	261,999	396,193	540,568	663,664
(B) 負債	**15,268,009**	**15,445,529**	**15,696,880**	**160,599,611**	**23,419,606**	**19,372,579**
未払金	－	－	－	143,947,282	－	－
未払収益分配金	8,498,069	8,392,830	8,317,926	8,264,270	8,157,809	8,058,253
未払解約金	1,969,909	3,051,756	2,927,238	3,541,763	11,127,276	6,771,750
未払信託報酬	4,788,380	3,991,233	4,440,909	4,834,532	4,124,482	4,531,550
その他未払費用	11,651	9,710	10,807	11,764	10,039	11,026
(C) 純資産総額(A－B)	**3,439,265,214**	**3,506,735,583**	**3,539,635,779**	**3,626,172,953**	**3,602,188,106**	**3,607,966,968**
元本	8,498,069,776	8,392,830,959	8,317,926,916	8,264,270,648	8,157,809,873	8,058,253,916
次期繰越損益金	△5,058,804,562	△4,886,095,376	△4,778,291,137	△4,638,097,695	△4,555,621,767	△4,450,286,948
(D) 受益権総口数	**8,498,069,776口**	**8,392,830,959口**	**8,317,926,916口**	**8,264,270,648口**	**8,157,809,873口**	**8,058,253,916口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**4,047円**	**4,178円**	**4,255円**	**4,388円**	**4,416円**	**4,477円**

（注）第195期末における元本額は8,548,379,473円、当作成期間（第196期～第201期）中における追加設定元本額は50,838,198円、同解約元本額は540,963,755円です。

■損益の状況

項目	第 196 期	第 197 期	第 198 期	第 199 期	第 200 期	第 201 期
	自 2025年3月20日 至 2025年4月21日	自 2025年4月22日 至 2025年5月19日	自 2025年5月20日 至 2025年6月19日	自 2025年6月20日 至 2025年7月22日	自 2025年7月23日 至 2025年8月19日	自 2025年8月20日 至 2025年9月19日
(A) 配当等収益	**2,343,197円**	**1,979,848円**	**992,083円**	**1,143,565円**	**1,229,549円**	**1,337,655円**
受取利息	2,219,691	1,838,586	866,348	1,010,221	1,085,722	1,215,411
その他収益金	123,506	141,262	125,735	133,344	143,827	122,244
(B) 有価証券売買損益	**△228,738,869**	**120,485,440**	**75,980,710**	**121,346,697**	**33,832,209**	**61,004,281**
売買益	4,002,417	122,099,265	76,693,359	122,642,103	36,779,043	62,852,103
売買損	△232,741,286	△1,613,825	△712,649	△1,295,406	△2,946,834	△1,847,822
(C) 信託報酬等	**△4,823,896**	**△4,025,839**	**△4,466,791**	**△4,877,321**	**△4,176,709**	**△4,570,551**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**△231,219,568**	**118,439,449**	**72,506,002**	**117,612,941**	**30,885,049**	**57,771,385**
(E) 前期繰越損益金	**△2,102,423,729**	**△2,311,431,971**	**△2,179,763,171**	**△2,100,054,336**	**△1,963,699,064**	**△1,913,370,666**
(F) 追加信託差損益金	**△2,716,663,196**	**△2,684,710,024**	**△2,662,716,042**	**△2,647,392,030**	**△2,614,649,943**	**△2,586,629,414**
(配当等相当額)	(95,254,555)	(94,147,691)	(93,396,358)	(92,886,230)	(91,764,419)	(90,855,962)
(売買損益相当額)	(△2,811,917,751)	(△2,778,857,715)	(△2,756,112,400)	(△2,740,278,260)	(△2,706,414,362)	(△2,677,485,376)
(G) 合計(D+E+F)	**△5,050,306,493**	**△4,877,702,546**	**△4,769,973,211**	**△4,629,833,425**	**△4,547,463,958**	**△4,442,228,695**
(H) 収益分配金	**△8,498,069**	**△8,392,830**	**△8,317,926**	**△8,264,270**	**△8,157,809**	**△8,058,253**
次期繰越損益金(G+H)	**△5,058,804,562**	**△4,886,095,376**	**△4,778,291,137**	**△4,638,097,695**	**△4,555,621,767**	**△4,450,286,948**
追加信託差損益金	△2,716,663,196	△2,684,710,024	△2,662,716,042	△2,647,392,030	△2,614,649,943	△2,586,629,414
(配当等相当額)	(95,259,023)	(94,150,508)	(93,401,130)	(92,890,777)	(91,767,032)	(90,869,969)
(売買損益相当額)	(△2,811,922,219)	(△2,778,860,532)	(△2,756,117,172)	(△2,740,282,807)	(△2,706,416,975)	(△2,677,499,383)
分配準備積立金	93,853,998	95,890,482	98,709,210	102,572,495	103,028,659	105,888,769
繰越損益金	△2,435,995,364	△2,297,275,834	△2,214,284,305	△2,093,278,160	△2,044,000,483	△1,969,546,303

（注１）(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）分配金の計算過程

項目	第 196 期	第 197 期	第 198 期	第 199 期	第 200 期	第 201 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,950,479円	11,659,897円	12,078,495円	12,851,728円	10,005,504円	12,383,459円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	95,259,023	94,150,508	93,401,130	92,890,777	91,767,032	90,869,969
(d) 分配準備積立金	92,401,588	92,623,415	94,948,641	97,985,037	101,180,964	101,563,563
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	197,611,090	198,433,820	200,428,266	203,727,542	202,953,500	204,816,991
(f) 1万口当たり当期分配対象額	232.54	236.43	240.96	246.52	248.78	254.17
(g) 分配金	8,498,069	8,392,830	8,317,926	8,264,270	8,157,809	8,058,253
(h) 1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

■分配金のお知らせ

決　算　期	第 196 期	第 197 期	第 198 期	第 199 期	第 200 期	第 201 期
1万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて
・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
　○分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
　○分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「国際機関債マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。
(2025年４月１日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

国際機関債マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日　2025年９月19日）

（計算期間　2024年９月20日～2025年９月19日）

国際機関債マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	「国際機関債」を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以下とします。 外貨建資産への投資には、制限を設けません。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
13期(2021年９月21日)	13,738	13.5	94.4	－	3,263
14期(2022年９月20日)	15,445	12.4	95.9	－	3,023
15期(2023年９月19日)	18,074	17.0	97.0	－	2,892
16期(2024年９月19日)	18,616	3.0	94.2	－	2,631
17期(2025年９月19日)	20,766	11.5	94.5	－	2,409

（注１）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注３）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

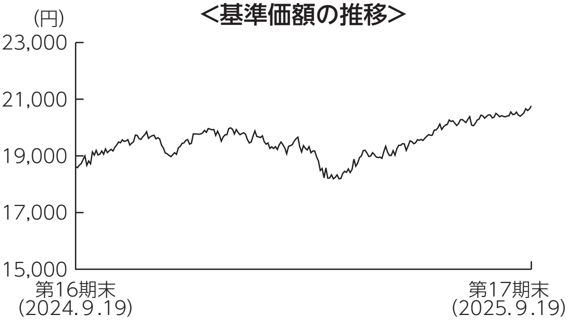
■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基　準　価　額		債券組入比率	債券先物比率
		騰　落　率		
(期　首) 2024年 9 月19日	円 18,616	% －	% 94.2	% －
9　月　末	18,667	0.3	94.0	－
10　月　末	19,573	5.1	95.1	－
11　月　末	19,103	2.6	94.4	－
12　月　末	19,900	6.9	93.7	－
2025年 1　月　末	19,747	6.1	94.1	－
2　月　末	19,259	3.5	94.0	－
3　月　末	19,110	2.7	97.0	－
4　月　末	18,410	△1.1	96.6	－
5　月　末	19,131	2.8	95.4	－
6　月　末	19,689	5.8	95.7	－
7　月　末	20,289	9.0	95.6	－
8　月　末	20,378	9.5	95.4	－
(期　末) 2025年 9 月19日	20,766	11.5	94.5	－

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年９月20日から2025年９月19日まで）

<基準価額の推移>



基準価額の推移

　当ファンドの基準価額は20,766円となり、前期末比で11.55％上昇しました。

基準価額の主な変動要因

　基準価額は上昇しました。当期は保有債券からのインカム収益や、多くの投資国および投資年限で利回り低下（価格は上昇）が進むなど債券要因が基準価額上昇の主要因となりました。一方、為替要因については、投資通貨の対円の動きはまちまちであったものの、全体では基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

　債券市場では、国債利回りの動きはまちまちでした。米国では堅調な雇用統計やインフレの下げ渋りを受けて、期初から2025年１月にかけて利回りが上昇（価格は下落）しましたが、トランプ米政権による関税賦課のリスクや、インフレ減速などを背景に上げ幅を縮める展開となりました。投資国の国債利回りは、インフレのピークアウトによる利下げ継続が意識されたことで多くの国で低下したものの、インフレが再加速し利上げを実施したブラジルでは上昇しました。

　為替市場では、主要先進国・新興国通貨の対円での動きがまちまちでした。米ドル／円は、堅調な米景気や日銀の追加利上げに対する慎重姿勢などを背景に米ドル高円安となりました。投資国通貨は米ドル高円安の進展や、市場のリスク選好が維持されたことによる新興国資産への資金流入から、ポーランドやブラジルなど多くの投資国通貨が対円で大きく上昇したものの、高インフレから減価が続くトルコや、政治リスクが意識されたインドやインドネシアの通貨は下落しました。

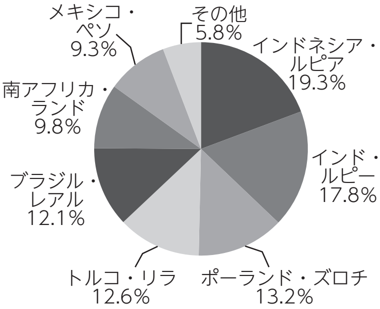
ポートフォリオについて

　新興国通貨建て国際機関債の利回り水準や流動性などに基づき投資通貨を決定しました。当期は、前期末のメキシコペソ、ブラジルレアル、インドネシアルピア、南アフリカランド、ポーランドズロチ、トルコリラ建て債券への投資を継続しました。

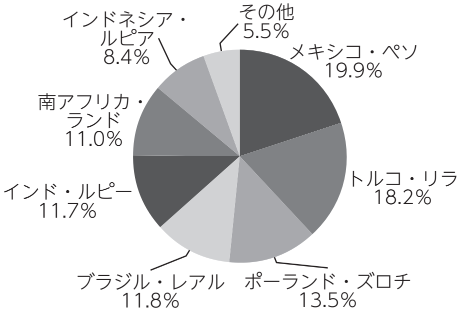
【運用状況】

○通貨別構成比

期首（前期末）



期末



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。

今後の運用方針

主として世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組み入れる方針です。金利水準および市場流動性などを鑑みながら組入対象については適宜見直しを計り、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) その他費用	5円	0.027%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.023)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(その他)	(1)	(0.004)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	5	0.027	
期中の平均基準価額は19,517円です。			

（注１）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注２）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2024年９月20日から2025年９月19日まで）

公社債

			買付額	売付額
外国	トルコ	特殊債券	千トルコ・リラ 130,089	千トルコ・リラ 98,245 (－)
	メキシコ	特殊債券	千メキシコ・ペソ 59,142	千メキシコ・ペソ 35,611 (－)
	インド	特殊債券	千インド・ルピー 164,625	千インド・ルピー 270,296 (－)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア 14,688,000	千インドネシア・ルピア 46,854,875 (－)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジル・レアル 7,632	千ブラジル・レアル 8,258 (1,700)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド 19,265	千南アフリカ・ランド 21,155 (－)
	ポーランド	特殊債券	千ポーランド・ズロチ 10,257	千ポーランド・ズロチ 11,845 (－)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2024年９月20日から2025年９月19日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 159,500	千トルコ・リラ 121,975	千円 437,476	% 18.2	% －	% －	% 11.3	% 6.9
メキシコ	千メキシコ・ペソ 65,800	千メキシコ・ペソ 59,535	千円 480,003	19.9	－	0.3	－	19.6
インド	千インド・ルピー 167,000	千インド・ルピー 167,084	千円 282,372	11.7	－	－	8.5	3.2
インドネシア	千インドネシア・ルピア 22,500,000	千インドネシア・ルピア 22,497,327	千円 202,475	8.4	－	－	－	8.4
ブラジル	千ブラジル・レアル 10,500	千ブラジル・レアル 10,233	千円 284,921	11.8	－	－	3.4	8.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 34,700	千南アフリカ・ランド 30,954	千円 264,040	11.0	－	－	5.7	5.3
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 8,300	千ポーランド・ズロチ 7,936	千円 325,167	13.5	－	－	6.8	6.7
合計	－	－	千円 2,276,458	94.5	－	0.3	35.7	58.5

（注１）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注２）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（トルコ）		%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	
EBRD 27.5 02/13/29	特殊債券	27.5000	35,000	30,382	108,969	2029/02/13
ASIAN DEV BANK 03/08/27	特殊債券	0.0000	54,500	34,235	122,789	2027/03/08
EBRD 05/28/27	特殊債券	0.0000	20,000	11,944	42,838	2027/05/28
EBRD 28.0 09/27/27	特殊債券	28.0000	50,000	45,413	162,879	2027/09/27
小計	－	－	159,500	121,975	437,476	－
（メキシコ）		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
AFDB 02/09/32	特殊債券	0.0000	1,500	872	7,037	2032/02/09
IBRD 03/13/27	特殊債券	0.0000	2,500	2,209	17,814	2027/03/13
IBRD 06/30/27	特殊債券	0.0000	29,000	25,243	203,527	2027/06/30
IFC 7.0 07/20/27	特殊債券	7.0000	18,800	18,530	149,399	2027/07/20
IADB 11/27/26	特殊債券	0.0000	14,000	12,679	102,224	2026/11/27
小計	－	－	65,800	59,535	480,003	－
（インド）		%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
NIB 7.23 01/23/30	特殊債券	7.2300	10,000	10,147	17,149	2030/01/23
IBRD 6.75 09/08/27	特殊債券	6.7500	30,000	30,145	50,945	2027/09/08
ASIAN DEV BANK 6.2 10/06/26	特殊債券	6.2000	15,000	15,062	25,454	2026/10/06
EBRD 6.3 10/26/27	特殊債券	6.3000	112,000	111,728	188,821	2027/10/26
小計	－	－	167,000	167,084	282,372	－
（インドネシア）		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	
IBRD 4.6 02/09/26	特殊債券	4.6000	7,500,000	7,481,238	67,331	2026/02/09
IBRD 5.0 12/01/26	特殊債券	5.0000	15,000,000	15,016,089	135,144	2026/12/01
小計	－	－	22,500,000	22,497,327	202,475	－
（ブラジル）		%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
IBRD 5.0 01/22/26	特殊債券	5.0000	4,500	4,382	122,023	2026/01/22
IFC 10.0 02/03/27	特殊債券	10.0000	3,000	2,911	81,056	2027/02/03
IFC 10.75 02/15/28	特殊債券	10.7500	3,000	2,939	81,841	2028/02/15
小計	－	－	10,500	10,233	284,921	－
（南アフリカ）		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
EIB 8.0 05/05/27	特殊債券	8.0000	4,500	4,577	39,049	2027/05/05
EIB 8.125 12/21/26	特殊債券	8.1250	4,300	4,350	37,108	2026/12/21
IBRD 8.25 12/21/26	特殊債券	8.2500	5,900	6,001	51,195	2026/12/21
IBRD 12/29/28	特殊債券	0.0000	20,000	16,024	136,688	2028/12/29
小計	－	－	34,700	30,954	264,040	－
（ポーランド）		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
EIB 08/25/26	特殊債券	2.7500	4,000	3,922	160,700	2026/08/25
EIB 3.0 11/25/29	特殊債券	3.0000	4,300	4,014	164,466	2029/11/25
小計	－	－	8,300	7,936	325,167	－
合計	－	－	－	－	2,276,458	－

■投資信託財産の構成

2025年９月19日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
公社債	2,276,458	94.5
コール・ローン等、その他	132,990	5.5
投資信託財産総額	2,409,449	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。
（注２）期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,399,352千円、99.6％です。
（注３）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年９月19日における邦貨換算レートは、１トルコ・リラ＝3.586円、１メキシコ・ペソ＝8.062円、１インド・ルピー＝1.69円、100インドネシア・ルピア＝0.90円、１ブラジル・レアル＝27.843円、１南アフリカ・ランド＝8.53円、１ポーランド・ズロチ＝40.97円、１ユーロ＝174.51円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年９月19日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**2,409,449,180円**
コール・ローン等	16,123,548
公社債(評価額)	2,276,458,328
未収利息	70,849,983
前払費用	46,017,321
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**2,409,449,180**
元本	1,160,275,697
次期繰越損益金	1,249,173,483
(D) 受益権総口数	**1,160,275,697口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**20,766円**

（注１）期首元本額　1,413,356,255円
追加設定元本額　0円
一部解約元本額　253,080,558円
（注２）期末における元本の内訳
ＤＩＡＭ高格付外債ファンド　1,160,275,697円
期末元本合計　1,160,275,697円

■損益の状況

当期　自2024年９月20日　至2025年９月19日

項目	当期
(A) 配当等収益	**171,038,612円**
受取利息	170,097,757
その他収益金	940,855
(B) 有価証券売買損益	**100,718,217**
売買益	225,519,226
売買損	△124,801,009
(C) その他費用	**△669,091**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**271,087,738**
(E) 前期繰越損益金	**1,217,805,187**
(F) 解約差損益金	**△239,719,442**
(G) 合計(D＋E＋F)	**1,249,173,483**
次期繰越損益金(G)	**1,249,173,483**

（注１）(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年４月１日)